



六田 知弘写真展

「地の色」

# MUDA TOMOHIRO

地から滲み出た赤色は柵を伝ってアカショウビンの羽にのり移り、  
床に染み込んだ青色はやがてラピスラズリの塊となる

アート  
玄 羅  
gcn ra

六田 知弘写真展

「地の色」

MUDA  
TOMOHIRO

11月10日(金)～11月28日(火) 12:00～17:30【水・木曜 休み】

作家在廊日: 11月10日(金)・11日(土)・12日(日)

略 歴 1956年奈良県生まれ。

1982年よりネパールヒマラヤ山中のシャルバの村に暮らして撮影。

1988年初個展「ひかりの素足-シュルバ」(新宿ニコンサロン)を開催する。

以降、「自然や宇宙と人間との根源的なつながり」を遠くに探りながら、モノ、風景、石、水、壁、人、文化財や遺跡、古美術品など様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表する。

2007年 国立西洋美術館で「祈りの中世 ロマネスク美術写真展」を開催。

2008年 中国の「雲岡石窟」の全容を撮影し、2011年写真展「雲岡 仏宇宙」(満山龍泉堂)を開催。

2009年より写真展「サンティアゴ巡礼の道 六田知弘 東洋のまなざし」が世界各地を巡回中。

2011年の震災後の東北地方にて、津波にのまれ打ちあげられた被災物を撮影し、

2013年より写真展「時のイコン-東日本大震災の記憶」として相田みつを美術館や渋谷区立松涛美術館など、国内外を巡回。

2014年 大阪市立東洋陶磁美術館で「運-清らかな東洋のやきもの×写真家・六田知弘の眼」を開催。

2017年 大阪と奈良県御所市にて「写真家 六田知弘 宇宙のかけら-御所GOSE」を開催。

2018年 静岡県島の池田20世紀美術館にて 六田知弘写真展「壁・ヒミツノアリカ」を開催。

2020年 六田知弘写真展「仏宇宙」を相田みつを美術館で開催。

2021年 3月ボルテ金沢にて、東日本大震災から10年、「時のイコン展」を開催。

2023年「運慶と快慶 六田知弘・佐々木香輔写真展」(相田みつを美術館)を開催。

そのほか、国内外の美術館やギャラリーなどでの個展多数。

写真集 「石と光 シーのロマネスク聖堂」(平凡社刊) / 「時のイコン 東日本大震災の記憶」(平凡社刊)

「ロマネスク-光と闇にひそむもの」(生活の友社刊) / 「仏宇宙」(生活の友社刊)など多数。

 アート  
 玄 羅  
 gen ra

〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ボルテ金沢3F

TEL/FAX 076-255-0988 [ホテル日航金沢横]

E-mail genraart@ozzio.jp

Web <http://genraart.com>

玄羅アート

料金別納郵便

